

平成20年度 地方の元気再生事業 事業実施調書

(1) 取組名	ユニバーサルツーリズム事業の振興と障がい当事者の一般就労機会の創出による地域活性化プロジェクト		
(2) 実施団体名	NPO法人ウィズアス	(3) 対象地域	兵庫県神戸市
(4) 代表団体名	NPO法人ウィズアス	(5) 推薦団体名	神戸市

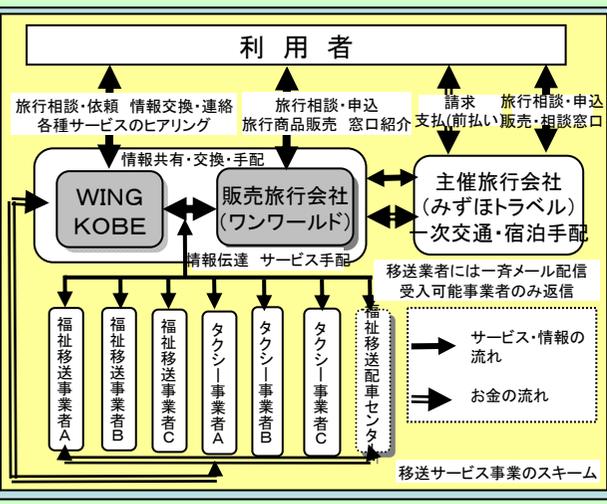
(6) 実施した取組の内容	取組①	地域内の移送、宿泊、介助など、各サービス提供者との連携の強化	
	実施主体	NPO法人ウィズアス	
	実施内容、実施結果	当初提案により予定していた計画	実際の取組内容及びその結果
		<ul style="list-style-type: none"> ・実施内容:ユニバーサルツーリズム(以下、UTとする)事業を支える地域の移送、宿泊、介助など、各サービス提供者とのネットワークを強化するため連絡協議会等の組織化と開催及び福祉移送サービスのネットワーク化に関する先進事例の研究 ・実施時期:平成20年9月～1月 <p>取組の目的:UT事業を支える地域の移送、宿泊、介助など、各サービス提供者とのネットワークの強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実施内容:分科会開催(5回)、事業者ヒアリング(宿泊、移送サービス、福祉・医療サービス、各1回)、連絡協議会・検討会開催(3回)、移送ネットワーク事例調査、神戸・阪神地区ホテル・チェックイン会(30社)におけるUT事業のプレゼンテーション(H20.11.18) ・実施時期:平成20年9月29日～2月上旬 <p>取組の結果:各事業者を含めた分科会での議論から、移送サービス事業者、介助・医療事業者のネットワーク化、宿泊事業者のUT事業への参加・協力を実行に移すため、タクシー事業者や2種免許(緑NO)をもつ福祉移送事業者の参画による検討会の開催、宿泊事業者、介助・医療事業者の参画によるそれぞれの連絡協議会を開催し、UT事業を支える地域の移送、宿泊、介助など、各サービス提供者とのネットワーク強化が図られた。</p>
	取組②	障がい者・高齢者等を受け入れる側の知識不足やスキルUPのための人材育成	
	実施主体	NPO法人ウィズアス	
実施内容、実施結果	当初提案により予定していた計画	実際の取組内容及びその結果	
	<ul style="list-style-type: none"> ・実施内容:異業種交流を含む講習会・研修会のプログラム開発と講習会・研修会の開催及び事業マネジメント育成講座やガイド育成講座のカリキュラム開発とモデル講座の開催 ・実施時期:平成20年9月～1月 <p>取組の目的:UT事業を支える現場スタッフのスキルUPやホスピタリティを向上及び、障がい者の一般就労の拡大を含めたUT事業運営者の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実施内容:分科会(5回)、UT実践研修会(5回)、UT実践講座(5回)、研修会・実践講座参加者事前・当日・事後アンケート ・実施時期:平成20年9月29日～2月上旬 ・研修会延べ参加者:105名、実践講座50名 <p>取組の結果:分科会においてはUT実践研修会のプログラム開発を行うことができた。また、研修会の進め方として、短時間にさまざまな人が参加する研修会では、すべての人を対象としたユニバーサルデザインでは対象がぼやけるため、近年イギリスで行われているインクルーシブデザインの視点(この人だけのことを考えるとといった対象を絞り込む考え方)によるワークショップ形式で進め、当日の評価と職場に戻っての実践について1ヶ月後に参加者アンケートにより調査し、役立つことが証明された。UT実践講座は、第1ステップ:座学、第2ステップ:フィールドでの実体験と演習によるカリキュラムとして取り組むことにより、障がい当事者と受講生の意見交換が図られ、受け入れ側のスキルUPにつながった。</p> <p>障がい者の一般就労をUT運営事業者の立場で創出することを目指し、上記の実践講座の受講者募集の段階で学生及び社会人の障がい者に対して積極的に呼びかけ、6名の障がい当事者の受講生を受け入れ、「身体障がい者が楽しむUT商品」「聴覚障がい者が楽しむUT商品」「視覚障がい者が楽しむUT商品」について企画立案を行うとともに、旅行の主人公となる身体・聴覚・視覚の各障がい者と旅行会社の造成担当者に対して商品のプレゼンテーションを行い成果に評価を加え、当事者がUTマネジメントを行う上での知識や技術を研鑽した。また、実践研修会、実践講座の講師に障がい当事者が就き、当事者の立場から研修や講義を進めるカリキュラム開発を行い、障がい当事者の新たな一般就労の機会創出に取り組んだ。</p>	
取組③	UT事業の本格稼働に向けた取り組み		
実施主体	NPO法人ウィズアス		
実施内容、実施結果	当初提案により予定していた計画	実際の取組内容及びその結果	
	<ul style="list-style-type: none"> ・実施内容①UT商品開発とモニターツアーの実施 ②車いすレンタルサービスシステムの構築 ③他地域の旅行会社を取り扱う旅行商品の相互提供、販売の仕組みづくり ・実施時期:①②③平成20年9月～1月 <p>取組の目的:地域の旅行会社との共同による障がい者・高齢者等を対象とした商品開発と販売の仕組みづくりの構築及び、神戸を訪れる身体障がい者や高齢者等の負担を軽減すると共に、旅先での利便性を高める車いすレンタル・サービスシステムの構築、沖縄県等の旅行会社を取り扱う旅行商品の相互提供、販売の仕組みづくりの構築</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実施内容:分科会(4回)①UT商品開発(10商品)と介助サポート付モニターツアー実施 ②車いす(30台)レンタル事業スキームの構築 ③UT商品相互販売の仕組みの構築 ・実施時期:①平成21年1月18日～2月3日②平成21年2月10日～平成21年3月③平成21年1月～3月 ・参加者:①5組10名 <p>取組の結果:①分科会での議論を経て、福祉サイドのウィズアスと地域旅行会社である(有)ワンワールド(第3種旅行業)がUT商品化を主体的に進め、これを第2種旅行業である㈱みずほトラベルが主催旅行として販売し、神戸での受入をNPO法人ウィズアスを中心とする旅行サポート事業者(福祉移送・宿泊・介助等)がサービスを提供する事業スキームが確立でき全国初のUT事業モデルが確認できた。この事業スキームに従い1月18日から2月3日までの期間で2泊3日のモニターツアーを5回実施した。②車いすレンタル事業については、愛称を「KOBEDどこでも車いす」とし、JR新幹線・新神戸駅、JR神戸線・三ノ宮駅、神戸空港、三ノ宮センター街・インフォメーションギャラリーの4箇所を貸し出しステーションとして協力いただくことで、それぞれの管理者と合意し、レンタル規約や傷害保険等を整え、障がい者の就労機会の創出を目指してNPO法人ウィズアスのスタッフが運営に関わり2月10日より実証事業を行うことにより車いすレンタルサービスシステムが構築できた。③UT商品相互販売の仕組み構築では、沖縄のカナサンツアーズ(第3種旅行業)と連携し、UT商品の相互販売の仕組みについて展開できることとなった。</p>	

7)実施体制	平成20年度の取組実施における体制・役割分担	取組の実施を踏まえた反省点
(8)取組により得られた成果	<p>○OUT推進委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・阪南大学前田教授を委員長に、3分科会委員長、福祉、宿泊、観光、メディアの関係者で構成し、本取組の総括を分担。 	<ul style="list-style-type: none"> ・取組①移送サービス関係では、分科会メンバーである(社)兵庫県タクシー協会において福祉タクシー総合配車センターの設置を3年以内に目指しており、UTをこの動きと連動した捉え方であることが明らかになり、今後、配車センターが整備された段階でネットワーク化が強化される道筋が出来た。
	<p>○地域ネットワーク強化分科会(主担当:取組①)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・UT事業を支える地域の移送、宿泊、介助など、各サービス提供者とのネットワークの強化方策について検討。 <p>○人材育成分科会(主担当:取組②)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・UT事業を支える現場スタッフのスキルUPやホスピタリティを向上及び、障がい者の一般就労を拡大を含めたUT事業運営者の育成方策を検討。 <p>○事業推進分科会(主担当:取組③)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の旅行会社との共同による障がい者・高齢者等を対象とした商品開発と販売の仕組みづくりの構築検討 ・神戸を訪れる身体障がい者や高齢者等の負担を軽減すると共に、旅先での利便性を高める車いすレンタル・サービスシステムの構築、沖縄県等の旅行会社が取り扱う旅行商品の相互提供、販売の仕組みづくりの構築検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・取組②UT教育カリキュラムは神戸夙川学院大学観光学科、神戸学院大学リハビリテーション学科等との連携により充実したものが組み上がった。UT実践研修会については、身体・聴覚・視覚障がい者、高齢者がリーダーとなり受講者が一緒になり、与えられたテーマを解決するためにワークショップ形式で課題解決に取り組む展開を採用することで、短い時間でまとめることができ、参加者から好感を持たれた。課題としては、障がい当事者の一般就労の機会創出を目指して、ワークショップのリーダーとして障がい当事者に努めてもらったが、コミュニケーション能力、議論のまとめ方、他の障がい種別に関する知識の蓄積、受講者が何を求めているのか等のスキルアップに取り組む必要があることが明らかとなった。また、障がい当事者の一般就労に結びつける意味からも、障がい当事者を講師として登録し派遣する仕組みづくりが必要である。UT実践講座については、今年度の取組を踏まえて、次年度以降、神戸市内の大学と連携した講座に発展させる方向を検討する。
	<p>○NPO法人ウィズアス(主担当:①、②、③)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本取組の運営を総括し、地方の元気再生事業の事務局として、UT推進委員会、3分科会の進行管理を行い取組を推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・取組③KOBEどこでも車いすは、障がい当事者のマネジメント参加を着実にするための財政確保策(車いすを広告スペースとして活用して課金)、車いすのメンテナンス、レンタル拠点の拡大等について検討が必要である。 また、UT商品の販売・受入の仕組みは、第2種・第3種旅行会社とNPO法人ウィズアスとのコラボレーションによる事業スキームの構築が実現し、後は、着実に魅力のある商品を提供し、障がい者・高齢者等の外出不安を取り除き、顧客として受け入れ実績を積み重ねていく必要がある。
	<p>○成果1→ 地域内の移送、宿泊、介助などのサービス提供者との連携を強め事業基盤を固める</p>	<p>H20(当初予定していた目標)</p>
	<p>UTIに関する総合的な講演会の開催に終わり一方通行の取組となっている</p> <p>H20(実際に得られた成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者・高齢者等に対して直接サービスを提供するクラスを対象としたワークショップ形式による研修会を2回開催し、また、介助・医療、宿泊、移送関係の連絡協議会を3回開催することにより、障がい者・高齢者等を受け入れる地域側のネットワークの強化が図られた。 ・福祉系NPO法人ウィズアスと第2種・第3種旅行会社のコラボレーションによるUT事業スキームが確立できた。 <p>ア. UT事業を支えるサービス提供者のスキルとホスピタリティの向上を図る</p> <p>イ. 障がい当事者の一般就労を拡大する仕組みづくりを行う</p> <p>ウ. UT事業を離陸させる</p>	<p>○各部門に分かれての研修会を2回開催</p> <p>○移送サービス連絡協議会を3回開催</p> <p>○UT窓口の構築によるワンストップ・サービスの展開</p> <p>H20(当初予定していた目標)</p> <p>提供サービス水準の一定化と共有化の必要性の確認</p> <p>モニターツアーの実施による神戸ならではの体験プログラムの確認</p> <p>H20(実際に得られた成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス提供側の管理職クラスを対象とした講演形式の研修会1回、障がい者・高齢者等に対して直接サービスを提供するクラスを対象としたワークショップ形式による研修会を2回開催し、参加者の障がい者・高齢者等に対するスキルUPとホスピタリティの向上が図られた。 ・神戸夙川学院大学観光学科、神戸学院大学リハビリテーション学科等との連携による5回のモデル講座の開講によりUT教育カリキュラムが構築された。また障がい当事者をリーダーとするUT商品開発を目指した実践講座の場に、受講生としても障がい当事者を迎え開講することにより障がい者の就労機会を拡大する仕組みづくりが検討できた。障がい者の就労機会を拡大する仕組みづくりの一環として、研修会・講座の講師として障がい当事者が就く方策を検討することができた。 ・10本のUT商品開発(5本は1月18日から2月3日までの期間で2泊3日のモニターツアーとして実施)を行い、福祉系NPO法人ウィズアスと第2種・第3種旅行会社のコラボレーション事業として販売、5組10名が参加し参加者の満足度も高く、今後のUT事業化への第一歩となった。

<p>(9)今年度の取組成果や活動を踏まえた反省点、改善点</p>	<p>・移送サービスの地域ネットワーク強化に関しては、(社)兵庫県タクシー協会の福祉タクシー総合配車センター設置の検討過程に遭遇し、これと連動してUTの取組を考える協会と機動的な協議ができない状況にあるが、個別のタクシー会社及び2種免許(緑NO)の福祉移送事業者とUT移送ネットワークを強化する取組を継続する。宿泊、介助・医療の地域ネットワークの強化は、スタッフサイドのスキルやホスピタリティの向上は今回取り組んだ研修会の継続的な開催により環境を整えることができるが、マネジメントサイドで、手間のかからない健康宿泊者重視の考えや、日常生活介護中心の業務に加えて、UTの概念を事業の対象として捉えていただけるようなプレゼンテーションの機会創出やコミュニケーションネットワークを充実する必要がある。</p> <p>・実践研修会については、講演形式の一方通行型の研修ではなく、ワークショップ型の受講者と障がいリーダーがともにテーマを決めて議論しまとめる方式により進めることで、実践を介したスキルUPやホスピタリティの向上が図られることが確認できた。次年度以降は、今年度の受講事前アンケート、受講時アンケート、職場に持ち帰った後の1ヶ月後アンケート調査を分析し、プログラムのバージョンUPを行い継続して取り組む必要がある。また、その際、リーダーを務めてもらう障がいの者のスキルアップに取り組むとともに、講師として登録し派遣する仕組みづくりに取り組む必要がある。実践講座について、今年度は学生、社会人等、障がい当事者(学生・社会人等)を対象に、UTマネジメント人材の育成を目指し、マーケティングの視点やUTのフィールドワークについて実証的取組を行ったが、このような取組は単発にイベントとして行うものでなく大学等高等教育の一環として取り組むべきものであることから、今後大学等との連携を強化する必要がある。</p> <p>・UTの商品開発、販売、サービス提供の流れを今年度の取組で確固たるものとして構築できた。モニターツアーによる評価を踏まえ、見直すべきこと見直し、着実に事業を推進していく必要がある。また、どこでも車いす事業は、神戸のUTのインフラとして、より一層発展させる必要がある。他地域とのUT商品の相互提供の取り組みについては、今年度の沖繩カナサツツアーズとの連携を踏まえ拡大を図る必要がある。</p> <p>・なお、障がい者・高齢者にとっての旅行障壁解消への取組であるユニバーサルツーリズムの認知を回り、社会に浸透させていくことが特に重要である。</p>										
<p>(10)平成21年度以降の活動の見込み</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="271 408 714 695"> <p>当初提案に予定していた平成21年度以降の展開</p> <p>1. 人材育成(平成21年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・UTサービス提供者資格認定制度の検討 ・大学等の教育機関と連携した障がい者の一般就労UTカリキュラムの開発 </td> <td data-bbox="714 408 2049 695"> <p>今年度の取組状況を踏まえた平成21年度以降の活動の見込みと活用を希望する支援制度</p> <p>1-1. UTサービス提供者資格認定制度導入の取組(平成21年5月～平成22年3月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施主体:NPO法人ウイズアス ・平成20年度の実証研修会の成果を踏まえて講座プログラムの充実とリーダー(障がい者を含む)のスキルUPを回り、研修会を継続的に開催するとともに、受講者に対してインセンティブを付与する資格認定制度の導入について検討する。 <p>[活用を希望する制度:上記について地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額500万円)]</p> <p>1-2. 大学等と連携した障がい者の一般就労を目指したUTカリキュラムの開発と講座の開講(平成21年5月～平成22年3月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施主体:NPO法人ウイズアス 協力:ボーアイ4大学(神戸学院大学、神戸女子大、神戸医療大学、神戸夙川学院大学) ・三宮から15分の至近距離にあるポートアイランドには、観光学科やリハビリテーション学科、健康福祉学科、経営学部等の学部・学科を持つ大学が隣接立地しており、この環境を活かして大学連携により、それぞれの大学で修得した単位を認定する単位互換制度の導入に、障がい者の一般就労を目指したUTカリキュラムの開発と講座の開講に取り組む。 <p>[活用を希望する制度:上記について地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額500万円)]</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="271 695 714 855"> <p>2. 地域内外のネットワークづくり(平成21年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉移送サービスのネットワーク組織の構築 ・国内の他地域へのUT事業の水平展開 </td> <td data-bbox="714 695 2049 855"> <p>2-1. 地域ネットワークの構築(平成21年5月～平成22年3月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施主体:NPO法人ウイズアス ・移送、宿泊、介助・医療の事業者毎の連絡協議会を継続して開催し、UT事業を支える体制を強固にする。 <p>[活用を希望する制度:上記について地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額400万円)]</p> <p>2-2. 地域外とのネットワークの構築(平成21年5月～平成22年3月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下段に示す「4. (仮称)ユニバーサルツーリズム コンベンション in 神戸事業」として総合的に取り組む。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="271 855 714 1126"> <p>3. 本格的なUT事業展開(平成22年度～)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(仮称)UT神戸総合センターの開設 ・UT旅行商品の造成と販売 ・旅行サポートサービスの提供 ・UTサービス提供者人材の養成と資格認定 ・障がい当事者の一般就労の拡大 </td> <td data-bbox="714 855 2049 1126"> <p>3-1. KOBEどこでも車いす事業の稼働(平成21年5月～平成22年3月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施主体:NPO法人ウイズアス ・今年度に取り組んだ「KOBEどこでも車いす」実証事業の成果を踏まえ、障がい当事者のマネジメント参加を着実にするための財政確保策(車いすを広告スペースとして活用して課金)、車いすのメンテナンス、レンタル拠点の拡大、レンタルシステムの改善等の課題解決を図る。 <p>[活用を希望する制度:上記について地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額400万円)]</p> <p>3-2. 本格的なUT事業の展開(平成22年度～)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施主体:NPO法人ウイズアス ・平成20年度・21年度に取り組んだ各事業成果を踏まえ、本格的なUT事業の展開に発展させる。平成22年度については「5. 旅先での介護サービスや自立支援サービスの適用拡大」の取組を強化する。障がい当事者の自立支援に関しては、「KOBEどこでも車いす」事業を厚生労働省の障がい者自立支援法における就労支援事業である就労継続支援の認定を受け、障がい者の一般就労機会の創出を図る。 <p>[活用を希望する制度:上記について障がい者就労継続事業の認定取得を予定]</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="271 1126 714 1318"> <p>当初提案になし(その1)(平成21年度)</p> </td> <td data-bbox="714 1126 2049 1318"> <p>4. (仮称)ユニバーサルツーリズム コンベンション in 神戸事業の開催(平成21年4月～平成22年12月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施主体:NPO法人ウイズアス 後援・協力:神戸市、兵庫県及び国の関連省庁を予定 ・UT事業は、平成19年度以前の取組と今年度の取組より、飛躍的に事業基盤が整いつつある。しかし、障がい者・高齢者等の経済的環境や外出先での移動、食事、入浴、排泄等の不安により、旅行障壁が大きく立ちふさがり、当事者や家族・友人、福祉施設関係者を対象としたアンケート調査でも潜在需要は大きいものの、これが顕在化できない状況が依然続いている。UT事業の推進は国民的課題解決の取組であることから、(仮称)ユニバーサルツーリズム コンベンション in 神戸により、UT元年として認知・浸透を図る。内容としては、全国から神戸を目的地としたUTツアー、UT welcome 神戸キャンペーン(ホスピタリティの向上)、UTシンポジウム(当事者、旅行会社、旅行サポートサービス事業者、学校・教育関係者、行政等)、パネル・ブース展示を計画する。 <p>[活用を希望する制度:上記について地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額1800万円)]</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="271 1318 714 1444"> <p>当初提案になし(その2)(平成21年度～)</p> </td> <td data-bbox="714 1318 2049 1444"> <p>5. 旅先での介護サービスや自立支援サービスの適用拡大(平成21年～)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施主体:NPO法人ウイズアス ・旅先での入浴介助などを介護保険による福祉サービスの適用となるようの方策を検討するとともに、障がい者自立支援法による自立支援給付金の適用を可能とし、障がい者・高齢者等にとって、金銭的負担を軽減する方策を検討する。 <p>[活用を希望する制度:上記について厚生労働省に理解と協力を希望]</p> </td> </tr> </table>	<p>当初提案に予定していた平成21年度以降の展開</p> <p>1. 人材育成(平成21年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・UTサービス提供者資格認定制度の検討 ・大学等の教育機関と連携した障がい者の一般就労UTカリキュラムの開発 	<p>今年度の取組状況を踏まえた平成21年度以降の活動の見込みと活用を希望する支援制度</p> <p>1-1. UTサービス提供者資格認定制度導入の取組(平成21年5月～平成22年3月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施主体:NPO法人ウイズアス ・平成20年度の実証研修会の成果を踏まえて講座プログラムの充実とリーダー(障がい者を含む)のスキルUPを回り、研修会を継続的に開催するとともに、受講者に対してインセンティブを付与する資格認定制度の導入について検討する。 <p>[活用を希望する制度:上記について地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額500万円)]</p> <p>1-2. 大学等と連携した障がい者の一般就労を目指したUTカリキュラムの開発と講座の開講(平成21年5月～平成22年3月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施主体:NPO法人ウイズアス 協力:ボーアイ4大学(神戸学院大学、神戸女子大、神戸医療大学、神戸夙川学院大学) ・三宮から15分の至近距離にあるポートアイランドには、観光学科やリハビリテーション学科、健康福祉学科、経営学部等の学部・学科を持つ大学が隣接立地しており、この環境を活かして大学連携により、それぞれの大学で修得した単位を認定する単位互換制度の導入に、障がい者の一般就労を目指したUTカリキュラムの開発と講座の開講に取り組む。 <p>[活用を希望する制度:上記について地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額500万円)]</p>	<p>2. 地域内外のネットワークづくり(平成21年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉移送サービスのネットワーク組織の構築 ・国内の他地域へのUT事業の水平展開 	<p>2-1. 地域ネットワークの構築(平成21年5月～平成22年3月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施主体:NPO法人ウイズアス ・移送、宿泊、介助・医療の事業者毎の連絡協議会を継続して開催し、UT事業を支える体制を強固にする。 <p>[活用を希望する制度:上記について地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額400万円)]</p> <p>2-2. 地域外とのネットワークの構築(平成21年5月～平成22年3月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下段に示す「4. (仮称)ユニバーサルツーリズム コンベンション in 神戸事業」として総合的に取り組む。 	<p>3. 本格的なUT事業展開(平成22年度～)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(仮称)UT神戸総合センターの開設 ・UT旅行商品の造成と販売 ・旅行サポートサービスの提供 ・UTサービス提供者人材の養成と資格認定 ・障がい当事者の一般就労の拡大 	<p>3-1. KOBEどこでも車いす事業の稼働(平成21年5月～平成22年3月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施主体:NPO法人ウイズアス ・今年度に取り組んだ「KOBEどこでも車いす」実証事業の成果を踏まえ、障がい当事者のマネジメント参加を着実にするための財政確保策(車いすを広告スペースとして活用して課金)、車いすのメンテナンス、レンタル拠点の拡大、レンタルシステムの改善等の課題解決を図る。 <p>[活用を希望する制度:上記について地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額400万円)]</p> <p>3-2. 本格的なUT事業の展開(平成22年度～)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施主体:NPO法人ウイズアス ・平成20年度・21年度に取り組んだ各事業成果を踏まえ、本格的なUT事業の展開に発展させる。平成22年度については「5. 旅先での介護サービスや自立支援サービスの適用拡大」の取組を強化する。障がい当事者の自立支援に関しては、「KOBEどこでも車いす」事業を厚生労働省の障がい者自立支援法における就労支援事業である就労継続支援の認定を受け、障がい者の一般就労機会の創出を図る。 <p>[活用を希望する制度:上記について障がい者就労継続事業の認定取得を予定]</p>	<p>当初提案になし(その1)(平成21年度)</p>	<p>4. (仮称)ユニバーサルツーリズム コンベンション in 神戸事業の開催(平成21年4月～平成22年12月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施主体:NPO法人ウイズアス 後援・協力:神戸市、兵庫県及び国の関連省庁を予定 ・UT事業は、平成19年度以前の取組と今年度の取組より、飛躍的に事業基盤が整いつつある。しかし、障がい者・高齢者等の経済的環境や外出先での移動、食事、入浴、排泄等の不安により、旅行障壁が大きく立ちふさがり、当事者や家族・友人、福祉施設関係者を対象としたアンケート調査でも潜在需要は大きいものの、これが顕在化できない状況が依然続いている。UT事業の推進は国民的課題解決の取組であることから、(仮称)ユニバーサルツーリズム コンベンション in 神戸により、UT元年として認知・浸透を図る。内容としては、全国から神戸を目的地としたUTツアー、UT welcome 神戸キャンペーン(ホスピタリティの向上)、UTシンポジウム(当事者、旅行会社、旅行サポートサービス事業者、学校・教育関係者、行政等)、パネル・ブース展示を計画する。 <p>[活用を希望する制度:上記について地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額1800万円)]</p>	<p>当初提案になし(その2)(平成21年度～)</p>	<p>5. 旅先での介護サービスや自立支援サービスの適用拡大(平成21年～)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施主体:NPO法人ウイズアス ・旅先での入浴介助などを介護保険による福祉サービスの適用となるようの方策を検討するとともに、障がい者自立支援法による自立支援給付金の適用を可能とし、障がい者・高齢者等にとって、金銭的負担を軽減する方策を検討する。 <p>[活用を希望する制度:上記について厚生労働省に理解と協力を希望]</p>
<p>当初提案に予定していた平成21年度以降の展開</p> <p>1. 人材育成(平成21年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・UTサービス提供者資格認定制度の検討 ・大学等の教育機関と連携した障がい者の一般就労UTカリキュラムの開発 	<p>今年度の取組状況を踏まえた平成21年度以降の活動の見込みと活用を希望する支援制度</p> <p>1-1. UTサービス提供者資格認定制度導入の取組(平成21年5月～平成22年3月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施主体:NPO法人ウイズアス ・平成20年度の実証研修会の成果を踏まえて講座プログラムの充実とリーダー(障がい者を含む)のスキルUPを回り、研修会を継続的に開催するとともに、受講者に対してインセンティブを付与する資格認定制度の導入について検討する。 <p>[活用を希望する制度:上記について地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額500万円)]</p> <p>1-2. 大学等と連携した障がい者の一般就労を目指したUTカリキュラムの開発と講座の開講(平成21年5月～平成22年3月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施主体:NPO法人ウイズアス 協力:ボーアイ4大学(神戸学院大学、神戸女子大、神戸医療大学、神戸夙川学院大学) ・三宮から15分の至近距離にあるポートアイランドには、観光学科やリハビリテーション学科、健康福祉学科、経営学部等の学部・学科を持つ大学が隣接立地しており、この環境を活かして大学連携により、それぞれの大学で修得した単位を認定する単位互換制度の導入に、障がい者の一般就労を目指したUTカリキュラムの開発と講座の開講に取り組む。 <p>[活用を希望する制度:上記について地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額500万円)]</p>										
<p>2. 地域内外のネットワークづくり(平成21年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉移送サービスのネットワーク組織の構築 ・国内の他地域へのUT事業の水平展開 	<p>2-1. 地域ネットワークの構築(平成21年5月～平成22年3月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施主体:NPO法人ウイズアス ・移送、宿泊、介助・医療の事業者毎の連絡協議会を継続して開催し、UT事業を支える体制を強固にする。 <p>[活用を希望する制度:上記について地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額400万円)]</p> <p>2-2. 地域外とのネットワークの構築(平成21年5月～平成22年3月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下段に示す「4. (仮称)ユニバーサルツーリズム コンベンション in 神戸事業」として総合的に取り組む。 										
<p>3. 本格的なUT事業展開(平成22年度～)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(仮称)UT神戸総合センターの開設 ・UT旅行商品の造成と販売 ・旅行サポートサービスの提供 ・UTサービス提供者人材の養成と資格認定 ・障がい当事者の一般就労の拡大 	<p>3-1. KOBEどこでも車いす事業の稼働(平成21年5月～平成22年3月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施主体:NPO法人ウイズアス ・今年度に取り組んだ「KOBEどこでも車いす」実証事業の成果を踏まえ、障がい当事者のマネジメント参加を着実にするための財政確保策(車いすを広告スペースとして活用して課金)、車いすのメンテナンス、レンタル拠点の拡大、レンタルシステムの改善等の課題解決を図る。 <p>[活用を希望する制度:上記について地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額400万円)]</p> <p>3-2. 本格的なUT事業の展開(平成22年度～)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施主体:NPO法人ウイズアス ・平成20年度・21年度に取り組んだ各事業成果を踏まえ、本格的なUT事業の展開に発展させる。平成22年度については「5. 旅先での介護サービスや自立支援サービスの適用拡大」の取組を強化する。障がい当事者の自立支援に関しては、「KOBEどこでも車いす」事業を厚生労働省の障がい者自立支援法における就労支援事業である就労継続支援の認定を受け、障がい者の一般就労機会の創出を図る。 <p>[活用を希望する制度:上記について障がい者就労継続事業の認定取得を予定]</p>										
<p>当初提案になし(その1)(平成21年度)</p>	<p>4. (仮称)ユニバーサルツーリズム コンベンション in 神戸事業の開催(平成21年4月～平成22年12月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施主体:NPO法人ウイズアス 後援・協力:神戸市、兵庫県及び国の関連省庁を予定 ・UT事業は、平成19年度以前の取組と今年度の取組より、飛躍的に事業基盤が整いつつある。しかし、障がい者・高齢者等の経済的環境や外出先での移動、食事、入浴、排泄等の不安により、旅行障壁が大きく立ちふさがり、当事者や家族・友人、福祉施設関係者を対象としたアンケート調査でも潜在需要は大きいものの、これが顕在化できない状況が依然続いている。UT事業の推進は国民的課題解決の取組であることから、(仮称)ユニバーサルツーリズム コンベンション in 神戸により、UT元年として認知・浸透を図る。内容としては、全国から神戸を目的地としたUTツアー、UT welcome 神戸キャンペーン(ホスピタリティの向上)、UTシンポジウム(当事者、旅行会社、旅行サポートサービス事業者、学校・教育関係者、行政等)、パネル・ブース展示を計画する。 <p>[活用を希望する制度:上記について地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額1800万円)]</p>										
<p>当初提案になし(その2)(平成21年度～)</p>	<p>5. 旅先での介護サービスや自立支援サービスの適用拡大(平成21年～)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施主体:NPO法人ウイズアス ・旅先での入浴介助などを介護保険による福祉サービスの適用となるようの方策を検討するとともに、障がい者自立支援法による自立支援給付金の適用を可能とし、障がい者・高齢者等にとって、金銭的負担を軽減する方策を検討する。 <p>[活用を希望する制度:上記について厚生労働省に理解と協力を希望]</p>										

◆主な実施取組の内容◆

取組①: 地域内の移送、宿泊、介助など、各サービス提供者との連携の強化
 実施主体: NPO法人ウィズアス
 実施内容・結果
 ○移送サービスのネットワーク強化
 UT事業を支える移送サービス提供事業者までをネットワークで結び事業スキーム構築検討会を開催しネットワークの強化が図られた。
 ○宿泊、介助・医療のネットワーク強化
 支配人や事業責任者等のマネジメントクラスへのUTの浸透、現場スタッフを対象とした研修会の開催によりスキルUPが図られ、これを展開するため連絡協議会を開催した。



取組②: 障がい者・高齢者等を受け入れる側の知識不足やスキルUPのための人材育成
 実施主体: NPO法人ウィズアス
 実施内容・結果
 ○実務者を対象とした実践研修会と学生や社会人、障がい当事者(学生・社会人)等を対象とした実践講座の開催計画を策定し、実施した。
 受講者アンケート等(事前、開催時、事後)により次年度以降の継続の基礎資料を得ることができた。

回数	参加対象	研修会運営形態	人数	開催日
1	管理職	パネルディスカッション	54	11/26
2	宿泊	ワークショップ	16	12/9
3	福祉・医療	ワークショップ	15	12/9
4	観光	ワークショップ	9	12/12
5	移送	ワークショップ	11	12/16



取組③: UT事業の本格稼働に向けた取り組み
 実施主体: NPO法人ウィズアス
 実施内容・結果
 ○UT商品開発とモニターツアーの実施
 UT商品開発(10商品)とモニターツアー計画を分科会において議論し、商品開発を行い、モニターツアーを実施してUT商品の完成度を深めた。



○どこでも車椅子事業の構築
 神戸を訪れた障がい者や高齢者の移動環境を整えるため、どこでも車椅子事業の構築を目指し、分科会において事業の基本スキームを議論した。
 2月より新神戸駅、三ノ宮駅、神戸空港、三宮センター街の4箇所をレンタル拠点とした実証事業に取り組んだ。



◆取組実施による成果・今後の展開◆

- 今年度の取組により、UT商品の企画、販売、神戸でのサービス提供(ガイド、移送、介助等)といった一連の流れを構築することができた。
- 今後の展開として、神戸でのサービス提供の水準を維持し充実していくため、移送、宿泊、介助・医療のネットワークを引き続き強化していくとともに、現場レベルでのスキルUPとホスピタリティの向上を図る実践研修会の継続開催と、障がい当事者(学生、社会人等)の就労機会を目指したUTマネジメント講座をポートアイランドに立地する4大学との連携により実現する。
- 障がい者・高齢者等の外出や旅行行動に対する障壁を解消し、神戸で積み重ねてきたUT事業の全国への水平展開を目的とした、(仮称)ユニバーサルツーリズム コンベンション in 神戸を平成21年度秋に神戸で開催し、UTのムーブメントを神戸から引き起こし、UT元年としていく。